

学びあうための

第20回関東アコーディオン演奏交流会（コンクール）

2008年9月23日（火）北区赤羽会館「講堂」

「重奏・小アンサンブル・合奏の部」結果発表

入賞・入選団体

重奏の部（出場21団体79名）

一位 横山・峯島ファミリー アディオス・ノニーノ
横山勇人 峯島樹生 峯島阿由美 横山淳子 峯島 浩

作曲：アストル・ピアソラ 編曲：松永勇次

二位 Prima! 哀愁のミュゼット

水野 前原

作曲：桑山哲也

三位 M&I スケートーズ・ワルツ

渡部 村上

作曲；エミール・ワルトトイフェル 編曲：余 継清

入選

● KRUG四重奏団 弦楽四重奏曲第七番第二楽章より

谷橋 大淵 橋本 池田

作曲：ベートーベン

● アコーディオン・カルパッチョ東部 碧 空

金野 井福 除村 佐藤 家子 石川

作曲：J・リスクナー 編曲：木下そんき

● 黒猫白猫 クロードへのタンゴ

川原 大倉

作曲：R・ガリアーノ 編曲：関 英昭

演奏者の氏名表記は当日のプログラムによる。

小アンサンブルの部（出場4団体25名）

一位 バンド・アミーゴ リベル・タンゴ

作曲：A・ピアソラ 編曲：橋本千香子

● 入選 なし

合奏の部 (出場 16 団体 174 名)

一位 川越アコーディオンサークルたんぽぽ リベル・タンゴ

作曲：A・ピアソラ 編曲：松永勇次

二位 ウインドバスカーズ 煙が目にしみる／マック・ザ・ナイフ

作曲：J・カーン／H・アイスラー 編曲：B.Olausson／松永勇次

三位 音楽センター東部教室 新世界交響曲より 4 章 (10 バージョン)

作曲：A・ドヴォルザーク 編曲：木下そんき

● 入選

実行委員会有志 合奏協奏曲作品 6 第三楽章より

作曲：ヘンデル

ゲスト演奏 松村有子 (ソロ) 前年度ソロ部門優勝者

田ノ岡三郎 (アコーディオン) 伊澤陽一 (スチールパン)

審査員：池田敏美 (ゲスト審査員) 青山義久、川口裕志、木下そんき、眞 錫安、柴崎和圭、西尾正、松永勇次、山岡秀明の各氏 (アイウエオ順敬称略)。

まとめ

第 20 回関東アコーディオン演奏交流会 (コンクール) は、北区赤羽会館に 41 の出場団体、参加総数 278 名を集めて開かれた。午前 10 時から午後 6 時過ぎまでそれぞれの熱演を繰り広げ、最後の審査結果発表までの長い充実した時間を共に過ごした。

審査に当たって、今回は「審査要項」を関東講師懇談会と実行委員会で検討し、改訂した。これを事前に審査員各位に送付し、当日「ルール」としてこれを確認して審査をすすめた。

審査では、全体の前進面として演奏のレベルの向上、選曲の中の広がり、参加層の広がり、編曲の多様化などが指摘された。一方で、アンサンブルの基本として、もっと聴き合うこと、メロディやハーモニーのバランス、ダイナミズムとベローの使い方などの課題も指摘された。私個人は、リズムについての追求、所謂「のり」やテンポのキープについての課題を感じた。又、今回から「合奏部門」の順位の発表を行うことにしたが、発表の際にミスがあり、これをお詫びし、審査事務局として今後の改善点としたい。その他に、審査の中では、アコーディオンの可能性、方向性として「アンサンブル部門」の充実、子供の参加などへの期待が強く出された。併せて一人で何回も出場した方が多い点について言及された。

20 回を積み重ねたこのイベントは、「学びの場」としての役割が一層重要になったと思う。講評の最後、特別ゲスト審査員として審査に加わって頂いた、バイオリニストの池田敏美さんのまとめは、この会の良い点として選曲のひろさ、参加層のひろがりなどの指摘に加えて、ご自身の体験に基くおはなしの中で、「誰の為に音楽をするか」という自分への問いかけや「演奏を聴いてもらうことの大切さ」などの指摘があり、参加者に深い感銘を与えた。

最後に、出場・参加された皆様は勿論、実行委員会の皆様及び運営スタッフの皆様へ感謝し、今後の更なる発展を期待したい。

松永 勇次